

「コロナ禍での企業景況報告」

経営研究部会 高橋尚也



二〇二一年、早くも半分が過ぎようとしています。昨年春に始まったこのコロナ禍、まだまだ終りが見えない中で、皆様も仕事、AIJ活動を行っていると思います。私は電気工事業をしていますが、昨年までは顧客が飲食チェーン店の割合が多く、じわりじわりとコロナの影響を受け、昨年は売上がかなり落ちていました。新規のお客様に恵まれたこともあり、今年度からは何とか例年通りの営業を続けることができている。家で過ごす時間が以前より増え、家族と向き合う時間も増え嬉しい事も沢山ありました。今回で三回目の緊急事態宣言の中、多くの方々が厳しい状況を強いられ、いる状況ですが、変化を恐れず進んで行きたいと思っています。

押方 勇氣

ワクチン打つ派・打たない派という事ですが、私はもちろん打つ派です。打てば一〇〇%かからないと言いう事は無いですが、やはり身近に感じつつある今、少しでも安心感を持ちたいですね。早くコロナが収束して気軽に呑みに行きたい、子供と出かけた、マスクの無い生活をしたい等々、言い出すと切りがないですが、一日でも早く元の生活に戻ればいいなと思う今日この頃です。

新型コロナ

ワクチン打つ派？ 打たない派？

笹川義昭

この原稿を書いている時点で緊急事態宣言は五月十一日では終わらずに延長されるニュースが流れています。私はワクチンを打てる機会があれば打ちます。打てなかったら、それまで待とうホトトギス。是非でも打たねばという気持ちでは持っていない。世界では中国製の効き目が無いとか、変異種に効かない等、色んなニュースが飛び交っています。私の母は前期高齢者なので、自治体からワクチン接種のお知らせが届きました。ただ、HP上での申し込みが必要で、インターネットに馴染みがない母にはハードルが高く、電話をしても繋がらない受付。十把一絡げにされた対応に腹を立てていました。昨年はマスク不足でしたが、今年はワクチン不足。シャープが生産したマスクは余っている様で当選メールがよく届きます。皆さん、新型コロナウィルスには十分気を付けましょうね。

漢口展満 特集

私がキックボクシングをする理由

もちろん昔から蹴ったり殴ったりが快感で合法でできるからではございません。きっかけはいろいろあった昨年コロナが治ったと思ったら最後に腫瘍が見つかり手術をしている入院中に今後を見つめ直した時で、健康や仕事、欲について、時間に限りある人生の中で断捨離をし、見直さないとマズイ。そこで必要のないリスト、本当にやりたい事リストを作りそのひとつに健康になるちようど退院した二日後に友達の社長がキックボクシングを始めたから試合を見に来て欲しいと言われ、ただのグダグダ試合でしょ？と思いつつも何故か行かなければと無理して傷口を押さえながら観戦に行きました。そこで目にしたK1JPGP三度のチャンピオン小比類巻貴之が主催する社長同士のエグゼクティブファイト。入場から引き込まれ頑張る社長達の姿と本場さながらの演出に全試合に感動したと共にとても悔しくなり自分も出たいと強く想い、すぐ小比類巻貴之さんを紹介していただき旨を伝え小比類巻道場に入門しました！手術の経過を見て年末から練習を開始し試合が四ヶ月後の四月十六日にあるということとで必死に練習して七十九kgまで体重を調整してオーディションに合格すれば出られると言われ絶対に出場してやると誓いました。そこから地獄の日々の始まりで二十年以上の欲にまみれた不摂生によるわがままボディとおさらば、禁ラーメン、禁糖質、禁酒、全ての禁欲生活、DS小比類巻のシゴキ、最初は蹴りを食いまくり立てなくなり、ボディをくぐらいつまくり、殴られまくれば本当に星が飛びまくりでした。めっちゃくちゃ快感で気持ちよくドM覚醒！毎日五時には起きランニング、筋トレ、道場で練習して仕事との生活を続け無事合格し試合に出場権利取得！自分の健康や精神、体を鍛えるのはもちろんの事裏目的